

(様式1)

## 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月21日		記入者		内線	2773
部 名	保健福祉部	課 名	地域福祉課		課長名	梅沢 道雄
事務事業名	在宅福祉サービス供給事業					
予算上の事務事業名	在宅福祉サービス供給事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				事業開始年度	
施 策 名	第1施策 地域ケアサービスの充実				平成元年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
社会福祉法						
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付) ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
市民が相互に助け合うことを基本とした社会福祉協議会が実施する家事介護援助サービス事業に対して助成するもの。				社会福祉法人相模原市社会福祉協議会		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
市民が相互に助け合うことを基本とした家事援助・介助サービス事業を実施する社会福祉法人相模原市社会福祉協議会に対して、3,000,000円の補助金を交付。 参考 相模原市社会福祉協議会実施事業の内容 基本サービス：相談員の定期訪問による相談・指導等(無料) 個別サービス：会員制度による家事援助・介助等のサービス(有料) ・利用時間 基本時間：午前9時～午後5時 超過時間：午前7時～午前9時、午後5時～午後7時、日・祝は全日 ・利用料金 基本時間：30分350円、超過時間：30分425円 ・利用会員 317人 ・協会員 192人 ・年間延べ利用者数 1874人 ・年間延べ利用時間 18,265時間						
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移 [単位：千円]						
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	3,500	3,000	3,000	2,880	2,880	
一般財源	3,500	3,000	3,000	2,880	2,880	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	35	33	34	34	34	
事業コスト合計(a)	3,535	3,033	3,034	2,914	2,914	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	家事援助・介助サービス事業(ふれあいサービス事業)			対象名称(単位)	年間延べ利用者数(人)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	3,500	3,000	3,000	2,880	2,880	
対象数	1,863	1,728	1,874	2,045	2,231	
単位あたり経費(円)	1,879	1,736	1,601	1,408	1,291	
前年度比		0.92	0.92	0.88	0.92	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	年間延べ利用時間		指標式と指標の説明	年間延べ利用時間	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	21,215.0	17,633.0	18,265.0		
目標	0.0	0.0	0.0	19,936.0	21,750.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	利用時間増減率		指標式と指標の説明	当該年度の利用時間数/前年度の利用時間数*100 前年を100とした場合の当該年度の割合(%)	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	104.3	83.1	103.6		
目標	0.0	0.0	0.0	109.1	109.1
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		福祉サービスに関する制度・環境の変化に対応していくため、適切なサービスを提供するためのサービスメニューの充実や、担い手の確保及び資質の向上が必要である。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
福祉サービスの制度・ニーズ変化に対応したサービスメニューや事業運営を検討していくことで、潜在的なニーズへの対応と参加意識の高揚が期待できる。			多様なニーズに対応した事業の実施を実現するための担い手（協力会員）の確保と資質向上のための研修等の充実が必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		効果的な事業実施を推進する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			